

事前評価個表

整理番号	28
------	----

地域（地区）名	南薩	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	鹿児島県	対象市町村	鹿児島市ほか6市
事業実施期間	H31～H35（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、鹿児島県西南部に位置する薩摩半島、大隅諸島の一部、トカラ列島からなり、北部の八重山を主峰に大小の山岳が東西に走り、中央部に金峰山、中央部から鹿児島湾寄りには、権現ヶ尾等が南北に走り、西部に野間岳、南部に開聞岳がある。また、東部の鹿児島湾に面して桜島があり、活発な火山活動を続けている。</p> <p>河川は、これらの山岳を源として五反田川、八房川、神之川、万之瀬川、馬渡川等が東シナ海に、甲突川、稲荷川、永田川が鹿児島湾にそそぎ、これらの流域には肥沃な平野が広がっている。</p> <p>本地区の総面積178千haのうち、森林面積は99千ha（森林率55%）、うち民有林は83千ha（森林面積の84%）となっている。また、民有林の人工林面積は、45千ha（人工林率54%）と県平均45%と比較すると大きく、スギ・ヒノキが主体であり、Ⅶ齢級以上の利用期を迎えた森林が94%を占めている。</p> <p>本地区では、近年、資源の充実とともに、東アジア地域への木材輸出の増加等により、搬出間伐や主伐が増加していることから、主伐後の再造林を確実に実施するなど、森林資源を循環利用しつつ、水源涵養や土砂流出防止等の森林の多面的機能を持続的に発揮させることが重要な課題となっている。</p> <p>このため、南薩地域森林環境保全整備事業計画に基づき、効率的な施業に不可欠な路網の整備、搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,498ha 人工造林、下刈り、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：2,317m 林業専用道</p> <p>総事業費：1,135,137千円（税抜き1,051,053千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 4.96 （総便益（B）= 8,662,070千円、総費用（C）= 1,744,773千円）</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の持続的発揮や、木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から、十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域の特性、森林資源の状況及び社会的要請等を踏まえた計画となっており、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 鹿児島県

地域(地区)名: 南薩^{なんさつ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,203,898	
	流域貯水便益	878,463	
	水質浄化便益	1,872,999	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,565,913	
環境保全便益	炭素固定便益	815,935	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	8,664	
	木材利用増進便益	2,109	
	木材生産確保・増進便益	1,055,608	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	18,518	
	森林整備促進便益	239,963	
総 便 益 (B)		8,662,070	
総 費 用 (C)		1,744,773	
費用便益比	$B \div C = \frac{8,662,070}{1,744,773} = 4.96$		

